

燃やすごみのカラス対策について

☆燃やすごみのカラス対策について



カラスは、記憶力と学習能力が高く、えさを隠した場所や、えさとなる食べ物が多くある場所を覚えています。
カラスの生態を理解し、対策を行う必要があります。

収集日を守りましょう

カラスはたいへん早起きです。
収集日の前日の夜からごみを出されているごみ集積場所はカラスにとって格好のえさ場となります。
ごみは収集日当日の朝（8時まで）にお出しください。



前日の夜からごみを出すと猫などの被害にあうこともあります。

生ごみを減らしましょう

カラスの生息数を減らすには、「えさである生ごみや残飯を減らす」ことが効果的です。
買った食料品は使い切る、また、食べ残しをしないように心がけ、生ごみを減らす工夫をしてください。



ごみの減量にもつながります。

生ごみを隠して排出しましょう

カラスは主に視覚でえさを探します。生ごみだけを新聞紙などで包み、カラスから中身が見えないようにして排出することも効果的です。

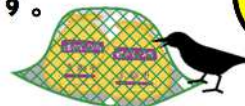


なお、生ごみや紙おむつなどの汚物のごみ出しなど、やむを得ない場合を除き、二重袋での排出はやめてください。

防鳥用ネット・防鳥用ケージを利用しましょう

◎防鳥用ネットを無償で貸与します。

市が収集する概ね5世帯以上が利用するごみ集積場所ごとに、防鳥用ネットを**最大2枚まで無償でお貸し**します。

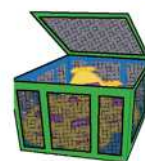


各事業の詳細は、裏面をご覧ください。

◎防鳥用ケージ※の購入費用の一部を助成します。

市が収集する概ね5世帯以上が利用するごみ集積場所で使用するために購入する防鳥用ケージの**購入費用の一部を助成**します。

※ 立体型のカラス除けケージ



詳細はこちらの二次元コードからご確認ください。



☆防鳥用ネットの無償貸与について

事業内容

概ね5世帯以上が利用するごみ集積場所1箇所につき、大又は小のいずれかを原則1枚（最大2枚まで）貸与します。【防鳥用ネットの種類】
小で、概ね15世帯以下で利用のごみ集積場所に対応できます。

ご利用を希望される場合は、お住まいの地域を担当する「まち美化事務所」又は「エコまちステーション」にご相談ください。

種類	サイズ	利用世帯(目安)
大	3m×4m	16世帯以上
小	2m×3m	15世帯以下

防鳥用ネットは、正しく管理しましょう

- ・防鳥用ネットは、収集日の朝にごみ集積場所にお出してください。
- ・ごみに被せるときは、裾が広がりすぎないように注意してください。
- ・ごみの収集が終わった後、できる限り速やかにごみ集積場所から片付けるようにしてください。



防鳥用ネットの使い方によっては、歩行者や自動車等の通行の妨げになり、場合によっては事故を引き起こす危険もありますので、適切にお使いください。



詳細はこちらの二次元コードからご確認ください。



☆防鳥用ケージの購入助成について

事業内容

概ね5世帯以上が利用するごみ集積場所で使用するために購入する防鳥用ケージの購入費用の一部（1/2、上限15,000円）を助成します。なお、助成は、ごみ集積場所1箇所につき、1回限りです。

ご使用を検討される場合は、お住まいの地域を担当する「まち美化事務所」又は「エコまちステーション」にご相談ください。

助成額	上限	申請個数上限
購入費用の1/2	15,000円/個	2個/ごみ集積場所

【助成金額】

防鳥用ケージは、ホームセンターやインターネットで様々な種類が販売されています。利用者間で相談いただき、要件に合ったものを購入してください。

防鳥用ケージは、正しく管理しましょう

- ・防鳥用ケージの使用に当たっては、京都市防鳥用ケージ使用基準で定める「防鳥用ケージの形状（大きさ、重さなど）」、「ごみ集積場所の位置」、「管理方法（防鳥用ケージの設置、保管など）」について、遵守いただく必要があります。また、購入前の事前協議において、要件を満たしているか確認させていただきます。
- ・特に、道路上で使用する場合、収集作業後、毎回必ず、保管に適している私有地内に、片づけていただく必要がありますので、ご注意ください。
- ・また、防鳥用ケージの転倒等により、通行の妨げにならないよう、必要に応じて安全対策を講じてください。

